

令和3年度第1回長岡京市文化財保存活用推進会議 主な意見

開催日時：令和3年9月27日（火） 午後2時～午後3時30分

開催場所：長岡京市立図書館3階 大会議室

区分	主な意見
地域計画の基本的事項(計画作成の背景と目的・計画の位置づけ等)について	子どもたちに長岡京市の歴史文化を分かりやすく説明し、まちを愛し、誇りを持ってもらえる取り組みを進めて頂きたい。
	都市化の進展のなかで失われた行事の記録を残すことが重要である。
長岡京市の歴史文化の特徴について	長岡京市の史跡など、点と点を線で結び付けるテーマがあると町の理解が進みやすい。また、長岡京市は一時間位で町を歩くことができる地の利を活かして街歩きができる。
	長岡京市の郷土料理で「いとこ汁」がある。食文化の構成文化財に追加できる。 食文化については、資料に記載されている煮しめやぜんざいなどの一般名詞ではなく、いとこ汁のような固有名詞を構成文化財とすること。
	八条ヶ丘のもとタキイ農場で現在も長岡京市の特産となっている千両二号という品種のナスがある。その謂れも含めて、文化財となるのではないか。
	これまで文化財の保存に取り組んできた長岡京市の事業についてとりまとめ、その課題や成果を将来像につなげる必要がある。今後、課題でまとめるかはどちらでも良い。
	JR長岡京市に展示されている「平和の記念碑」の実物が三菱ロジスネクスト(株)内にある。また、ふるさとガイドの会からの要請でそれらを見学してもらい、好評を得た。企業としても歴史文化のまちづくりに協力したい。
	その他
文化財所有者としては文化財の防災・防犯に苦勞している。防災・防犯の取り組みの参考になることがあれば良い。文化財防災・防犯は重要な事項である。	